

## 第4期中期目標及び中期計画の策定について

### 1 策定の趣旨

第3期中期目標期間（R1～R5）の終了に伴い、山口県産業技術センターが達成すべき業務運営に関する目標として、第4期中期目標を策定

これに基づき、センターにおいて中期目標を達成するための中期計画を策定

### 2 法的な位置付け

中期目標：地方独立行政法人法第25条第1項

中期計画：                 〃                 第26条第1項

### 3 目標・計画期間

令和6年度から令和10年度まで（5年間）

### 4 策定の基本方針

#### （1）第3期中期目標期間における実績・評価

##### 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進

- 「やまぐちR&Dラボ推進事務局」、「宇宙データ利用推進センター」、「IoTビジネス創出支援拠点」、「プロジェクト管理室」を設置し、成長産業分野におけるイノベーションを推進
- 企業の研究開発等を支援し、多くの事業化・商品化を達成

##### 中小企業の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進

- 事業化を見越した実用化研究の推進により、多くの事業化・商品化を達成
- 各種技術研究会の活動を通じて、企業の研究開発や事業化に向けた取組を支援
- 多様な手法による情報発信により、センターの活動内容や研究開発成果を普及

##### 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化

- Web会議システムの活用などによる技術相談体制を充実
- 企業ニーズに対応した技術支援サービスを実施  
→バーチャル3Dものづくり支援センターの運用を開始
- 他支援機関等との連携を強化  
→台湾のPlastics Industry Development Center (PIDC)、山口大学・やまぐち産業振興財団、防衛装備庁艦艇装備研究所、九州工業大学社会ロボット具現化センターと協定等を締結

## 《数値目標の達成状況》

「イノベーションの推進による成長産業分野の事業化件数」や「技術相談件数」など、ほとんどの項目で目標を達成済み又は達成見込み

⇒ 第3期中期目標に掲げた「付加価値の高い成長産業の育成・創出」や「ものづくりの高度化」は着実に成果を上げていると評価



### A評価（中期目標を十分達成見込み）

（中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価（9月議会に報告予定）における総合的な評定 ※S, A, B, C, Dの5段階評価）

#### （2）第3期を踏まえた産業技術センターが取り組むべき課題

- デジタル化・脱炭素化の流れなど社会変革や社会経済情勢の変化への対応
- これまで培われてきたイノベーション創出基盤やものづくり技術基盤を活かした企業支援の更なる充実
- より効果的・効率的な業務運営の実施

#### （3）県の産業振興の方向性（やまぐち未来維新プラン）

社会変革や社会経済情勢の変化に対応しながら、本県の強みを最大限に活かして、環境・エネルギー、医療、バイオ、航空機・宇宙、ヘルスケア、デジタルなど重点成長分野におけるイノベーションの加速化や、デジタル化・イノベーションの創出を通じた中堅・中小企業の成長支援などに取り組み、本県の活力の源となる産業力を大きく伸ばす。

#### （4）第4期中期目標の基本方針

第3期を踏まえた課題や、やまぐち未来維新プランを踏まえて、県内中小企業の「中核的技術支援拠点」としての取組をさらに充実・強化させるため、第4期中期目標期間においては、以下に取り組む。

- 産業のデジタル化や脱炭素社会の実現に寄与する新たなイノベーションの創出や更なる成長産業の育成・集積
- 新技術の開発や新たな付加価値の創出、生産性の向上など、中小企業の持続的成長・発展に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進
- 企業ニーズを踏まえた質の高いきめ細やかなサービスの提供
- 適正かつ効果的・効率的な業務運営の確保

【中期目標の分野ごとのポイント】

目標の分野	目標の内容	主な産技の取組	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上</p>	<p>①産業力強化に向けた新たなイノベーションの創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーボンニュートラルやDX・デジタル化に寄与する技術開発の促進</li> <li>・AI・IoT等のデジタル技術の導入促進</li> <li>・宇宙利用産業や水中次世代モビリティ関連産業、半導体・蓄電池産業の振興</li> <li>・オープンイノベーションの推進による企業の研究開発プロジェクトの創出</li> </ul>	
	<p>②中小企業の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究開発の推進とその成果の普及</li> <li>○知的財産の取得と活用</li> <li>○企業の技術革新の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会課題や時代のニーズに応える研究開発の戦略的な推進</li> <li>・センターの研究成果の戦略的な知的財産化</li> <li>・企業の独自技術の開発及び知的財産化の支援</li> </ul>
	<p>③「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技術的課題の解決に向けた研究開発・技術相談</li> <li>○企業ニーズに対応した技術支援サービス</li> <li>○効果的かつ切れ目のない企業支援</li> <li>○積極的・戦略的な情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研究の継続的な実施</li> <li>・各種技術支援サービスの充実</li> <li>・大学や関係機関と連携した企業支援の強化</li> <li>・広報戦略の策定及び戦略に基づく積極的な情報発信</li> </ul>
<p>業務運営の改善及び効率化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機動性の高い組織体制の確保</li> <li>○効果的・効率的な業務運営</li> <li>○職員の確保及び育成</li> <li>○コンプライアンスの確保及びリスクマネジメントの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルによる事業の実効性の向上</li> <li>・職員の採用から育成までの取組の充実</li> <li>・法令遵守の徹底や危機管理対策の推進</li> </ul>	
<p>財務内容の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な財源の確保</li> <li>○予算の効率的な執行</li> <li>○剰余金の有効な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部資金の獲得などの自主財源の確保</li> <li>・進捗状況に応じた予算配分</li> <li>・剰余金の効果的な活用</li> </ul>	
<p>その他業務運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設設備の計画的な整備</li> <li>○環境負荷の低減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的な維持管理計画に基づく保守・点検及び修繕・更新</li> <li>・資源の有効活用の取組</li> </ul>	

## (5) 中期計画の認可方針

センターが作成する中期計画については、中期目標が示す大きな方向性に関し、これらを達成するために必要な項目を設定した上で内容を具体的かつ簡潔に記載するとともに、達成水準を可能な限り明確に設定することを求めることとする。

## 5 策定スケジュール

R 5年8月	【第35回評価委員会】(8/4開催) 第4期中期目標・中期計画(素案)について審議
9月	第4期中期目標(素案)を9月議会(委員会)に報告
10月	【第36回評価委員会】(10月中旬開催予定) 第4期中期目標(素案)について審議
11月	第4期中期目標(案)を11月議会で議決
R 6年1月	【第37回評価委員会】(1月中旬開催予定) 第4期中期計画(素案)について審議
3月	・第4期中期計画(案)を2月議会(委員会)に報告 ↓ ・第4期中期目標 指示(知事→法人) ↓ ・第4期中期計画 認可申請(法人) ↓ ・第4期中期計画 認可(知事)